

**令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】**

- 調査期間 : 令和6年(2024年)3月12日(火曜日)～3月25日(月曜日)
- 調査方法 : インターネット(クローズ型)
- 設問数 : 全40問
- 調査対象者 : 15歳以上の札幌市民 480人(男性:240人 女性:240人)
年齢別内訳(30代以下:120人 40代:120人 50代:120人 60代以上:120人)

※ 割合(%)には、無回答は含みません。

「障害者差別解消法」とは、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として制定されました。

Q1. あなたは、「障害者差別解消法」(平成28年4月1日施行)を知っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 内容を詳しく知っている	6	1.3
2 内容をある程度知っている	67	14.0
3 名前だけは知っている	114	23.8
4 知らない	293	61.0
全体	480	100.0

Q2. 【Q1で「内容を詳しく知っている」、「内容をある程度知っている」、「名前だけは知っている」をお選びの方にお聞きします。「知らない」をお選びの方はQ4へお進みください。】
あなたは、「障害者差別解消法」をどのような媒体や経路で知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 広報さっぽろ	59	31.7
2 札幌市が発行するパンフレット	14	7.5
3 ポスター	12	6.5
4 新聞	52	28.0
5 テレビ	65	34.9
6 ラジオ	8	4.3
7 札幌市の公式ホームページ	5	2.7
8 札幌市の公式SNS	4	2.2
9 札幌市公式以外のインターネット	19	10.2
10 職場の研修や学校の授業	16	8.6
11 家族、知人	11	5.9
12 その他	5	2.7
13 覚えていない	31	16.7
全体	186	100.0

Q3. 【Q1で「内容を詳しく知っている」、「内容をある程度知っている」、「名前だけは知っている」をお選びの方にお聞きします。「知らない」をお選びの方は次へお進みください。】
あなたは令和6年4月から、改正された「障害者差別解消法」の施行が始まることを知っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 改正の内容を詳しく知っている	4	2.1
2 改正の内容をある程度知っている	24	12.8
3 改正されたことだけは知っている	64	34.2
4 知らない	95	50.8
全体	187	100.0

**令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】**

「障害者差別解消法」では、「障がい」を幅広く捉え、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）、その他の心身の機能の障がいや難病に起因する障がいがある方で、障がい及び社会的障壁（バリア）により、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある方を対象としています。したがって、「障害者差別解消法」の対象とする障がい者は、障害者手帳を所持している方に限りません。

Q4. あなたは、日常生活の中で、障がいのある方と接する機会がありますか。（自分自身は含まないでください。）

	回答数(n)	割合(%)
1 頻繁にある	63	13.1
2 しばしばある	86	17.9
3 あまりない	162	33.8
4 まったくない	169	35.2
全体	480	100.0

【Q4で「頻繁にある」、「しばしばある」をお選びの方にお聞きします。「あまりない」、「まったくない」をお選びの方は次へお進みください。】
Q5. あなたとその方との関係を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 家族や親戚	62	41.9
2 友人や知人	21	14.2
3 職場の同僚	30	20.3
4 仕事上の関係者	49	33.1
5 その他	20	13.5
全体	148	100.0

Q6. あなたは障がいのある方のための設備やサービスについて、普段意識しているものはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 点字ブロック（視覚障害者誘導用ブロック）の上に物や自転車を置かない	312	65.0
2 一般のトイレが使用可能であればバリアフリートイレ（多目的トイレ）を使わない	297	61.9
3 障がい者等用駐車スペースを使わない	309	64.4
4 補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）に触れたり話しかけたりしない	229	47.7
5 公共交通機関等における優先席付近では携帯電話の電源を切ったり、電波を発信しない状態にしたりする	136	28.3
6 エレベーター使用時に障がいのある方やベビーカーを押している親を優先する	251	52.3
7 その他	4	0.8
8 意識していない	84	17.5
全体	480	100.0

Q7. あなたは、日常生活の中で、障がいがあることを理由に、お店への入店を断ることやサービスの提供を拒否するなど、配慮に欠ける対応をしている場面に遭遇したことがありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	20	4.2
2 ない	460	95.8
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

【Q7で「ある」をお選びの方にお聞きします。「ない」をお選びの方は次へお進みください。】
Q8. あなたはどのような配慮に欠ける対応をしている場面に遭遇しましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 スーパーやデパートなどで 買い物をしたとき	9	47.4
2 飲食店を利用したとき	11	57.9
3 映画館や劇場、遊園地などの娯楽施設を利用したとき	4	21.1
4 公共交通機関を利用したとき	6	31.6
5 体育館や図書館などの公共施設を利用したとき	2	10.5
6 イベントや催し物に参加したとき	6	31.6
7 国や地方自治体などでサービスを受けたとき	1	5.3
8 宿泊施設を利用したとき	3	15.8
9 その他	4	21.1
全体	19	100.0

Q9. あなた自身、障がいのある方に対して、配慮に欠ける行動をしたと感じることはありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 よくある	6	1.3
2 たまにある	32	6.7
3 ほとんどない	134	27.9
4 まったくない	143	29.8
5 わからない	165	34.4
全体	480	100.0

Q10. あなたは、過去1年間のうち、障がいのある方へ、何か手助けをしたことがありますか。（家族、友人を除きます。）

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	123	25.6
2 ない	357	74.4
全体	480	100.0

【Q10で「ある」をお選びの方にお聞きします。「ない」をお選びの方はQ13へお進みください。】
Q11. あなたはどのような場面で障がいのある方へ手助けをしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 仕事するとき	45	36.9
2 スーパーやデパートなどで 買い物をしたとき	54	44.3
3 飲食店を利用したとき	9	7.4
4 映画館や劇場、遊園地などの娯楽施設を利用したとき	4	3.3
5 公共交通機関を利用したとき	52	42.6
6 体育館や図書館などの公共施設を利用したとき	5	4.1
7 イベントや催し物に参加したとき	5	4.1
8 国や地方自治体などでサービスを受けたとき	3	2.5
9 宿泊施設を利用したとき	1	0.8
10 その他	9	7.4
全体	122	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

【Q10で「ある」をお選びの方にお聞きします。「ない」をお選びの方はQ13へお進みください。】
Q12. あなたは障がいのある方へどのような手助けをしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 席を譲った	43	35.8
2 横断歩道や階段で手助けをした	39	32.5
3 車椅子を押した	34	28.3
4 一緒に遊んだ	5	4.2
5 買い物の手助けをした	19	15.8
6 公共交通利用時に乗り降りの手助けをした	31	25.8
7 話し相手になった	18	15.0
8 書類の書き方を説明した	9	7.5
9 わかりやすいように説明した	21	17.5
10 筆談した	8	6.7
11 白杖を持った方を誘導した	17	14.2
12 荷物を持った	14	11.7
13 文字を読み上げた	4	3.3
14 その他	8	6.7
全体	120	100.0

Q10で、過去1年間に障がいのある方へ手助けをしたことが「ない」をお選びの方にお聞きします。「ある」をお選びの方はQ14へお進みください。
Q13. あなたが障がいのある方へ手助けをしなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 特に求められなかったから	102	33.2
2 声をかけづらかったから	30	9.8
3 したいと思わなかったから	10	3.3
4 何をすれば良いかわからなかったから	46	15.0
5 助けが必要なように見えなかったから	52	16.9
6 自分にとって負担になるような気がしたから	6	2.0
7 手助けが必要な人を見かけたことがないから	126	41.0
8 周りの目が気になるから	3	1.0
9 その他	11	3.6
10 特に理由はない	56	18.2
全体	307	100.0

Q14. あなたは、障がいがある方についてどのような情報があれば、配慮や手助けをしやすいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 障がいの種類	90	18.8
2 困っていることに関する情報	223	46.5
3 配慮や手助けの例に関する情報	176	36.7
4 どのような人からの助けが必要か	169	35.2
5 障がいの程度の情報	64	13.3
6 障がいのある方からの具体的な指示	189	39.4
7 その他	4	0.8
8 わからない	41	8.5
9 特にない	82	17.1
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q15. あなたは、障がいのある方から手助けを求められた場合、手助けしたいと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 したい	183	38.1
2 どちらかといえばしたい	182	37.9
3 どちらともいえない	76	15.8
4 どちらかといえばしたくない	16	3.3
5 したくない	23	4.8
全体	480	100.0

Q16. あなたは、障がいのある方から求められなくても、手助けしたいと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 したい	76	15.8
2 どちらかといえばしたい	132	27.5
3 どちらともいえない	198	41.3
4 どちらかといえばしたくない	40	8.3
5 したくない	34	7.1
全体	480	100.0

ヘルプマークとは、外見からは障がいのあることが分かりづらい方が、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるストラップ型のマークです。
ヘルプカードとは、緊急連絡先や必要な支援内容などが記載でき、普段から身に着けておくことで、日常場面で困ったときなどに、周囲の援助や配慮をお願いしやすくするカードです。
札幌市では、平成29年10月から「ヘルプマーク」と「ヘルプカード」の配布を開始しています。

Q17. あなたは、「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」を知っていましたか。

	回答数(n)	割合(%)
1 どちらも知っていた	73	15.2
2 ヘルプマークは知っていた	301	62.7
3 ヘルプカードは知っていた	14	2.9
4 どちらも知らなかった	92	19.2
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q18. 【Q17で「どちらも知っていた」、「ヘルプマークは知っていた」、「ヘルプカードは知っていた」をお選びの方にお聞きします。「どちらも知らなかった」をお選びの方はQ19へお進みください。】
Q18. あなたは、「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」をどのようなことで知ったり、見かけたりしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 カバンなどにつけている人	331	86.0
2 地下鉄・市電の専用席・優先席のステッカー	96	24.9
3 大通駅構内などのデジタルサイネージ (HILOSHI含む)	11	2.9
4 広報さつぽろ	59	15.3
5 札幌市が発行するパンフレット	11	2.9
6 ポスター	25	6.5
7 新聞	22	5.7
8 テレビ	38	9.9
9 ラジオ	4	1.0
10 札幌市の公式ホームページ	3	0.8
11 札幌市の公式SNS	1	0.3
12 札幌市公式以外のインターネット	13	3.4
13 職場での研修や学校の授業	9	2.3
14 身近な人が持っていた	26	6.8
15 その他	10	2.6
16 覚えていない	19	4.9
全体	385	100.0

Q19. あなたは、「ヘルプマーク」を付けている人や「ヘルプカード」を持っている人を見かけたら、何か手助けをしたいと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 したい	74	15.4
2 どちらかといえばしたい	172	35.8
3 どちらともいえない	182	37.9
4 どちらかといえばしたくない	30	6.3
5 したくない	22	4.6
全体	480	100.0

障がいのある方に対して、社会から差別、偏見、理解の不足、誤解などの心の障壁（バリア）があるとされています。日常生活の中に存在するこれらの「心のバリア」をなくしていくことを「心のバリアフリー」と言います。

Q20. あなたは、「心のバリアフリー」という言葉を知っていましたか。

	回答数(n)	割合(%)
1 知っていた	209	43.5
2 知らなかった	271	56.5
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

【Q20で「知っていた」をお選びの方にお聞きします。「知らなかった」をお選びの方はQ23へお進みください。】
Q21. あなたは、「心のバリアフリー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。
(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 広報さっぽろ	59	28.4
2 札幌市が発行するパンフレット	12	5.8
3 ポスター	20	9.6
4 新聞	30	14.4
5 テレビ	52	25.0
6 ラジオ	10	4.8
7 札幌市の公式ホームページ	3	1.4
8 札幌市の公式SNS	3	1.4
9 札幌市公式以外のインターネット	14	6.7
10 職場の研修や学校の授業	12	5.8
11 家族・知人	11	5.3
12 地下鉄駅などのデジタルサイネージ	4	1.9
13 街頭のデジタルサイネージ	1	0.5
14 映画館でのCM	3	1.4
15 その他	4	1.9
16 覚えていない	75	36.1
全体	208	100.0

Q22. あなたは「心のバリアフリー」の意味(趣旨)を知っていましたか。

	回答数(n)	割合(%)
1 知っていた	155	74.9
2 知らなかった	52	25.1
全体	207	100.0

Q23. 札幌市において「心のバリアフリー」を推進するために、あなたが必要だと思うものは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 学校での子どもへの教育を充実する	269	56.0
2 市民や企業向けの研修会を充実する	121	25.2
3 イベントなどを通じた障がいのある人と市民との交流の機会を充実する	106	22.1
4 テレビ・新聞などのマスメディアでの広報活動を充実する	204	42.5
5 SNSを活用した広報活動を充実する	89	18.5
6 広報さっぽろ等で、理解を深めるための啓発を推進する	125	26.0
7 障がい者団体の活動をPRする	54	11.3
8 障がいのある人から話を聞く機会を増やす	84	17.5
9 パネル展示などの周知活動	44	9.2
10 その他	6	1.3
11 特になし	102	21.3
全体	480	100.0

Q24. あなたは、「札幌市心のバリアフリー推進マーク」を知っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 はい	47	9.8
2 いいえ	433	90.2
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

【Q24で「はい」をお選びの方にお聞きします。「いいえ」をお選びの方は次にお進みください。】
Q25. あなたは、「札幌市心のバリアフリー推進マーク」をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 広報さっぽろ	27	57.4
2 札幌市が発行するパンフレット	12	25.5
3 ポスター	11	23.4
4 新聞	6	12.8
5 テレビ	10	21.3
6 ラジオ	2	4.3
7 札幌市の公式ホームページ	2	4.3
8 札幌市の公式SNS	1	2.1
9 札幌市公式以外のインターネット	2	4.3
10 家族・知人	5	10.6
11 地下鉄駅などのデジタルサイネージ	4	8.5
12 街頭のデジタルサイネージ	1	2.1
13 映画館でのCM	1	2.1
14 その他	0	0.0
15 覚えていない	7	14.9
全体	47	100.0

札幌市では、心のバリアフリーについて学び、実践に繋げるための「心のバリアフリー研修」を実施しています。
Q26. 【URL】https://www.city.sapporo.jp/fukushi/machizukuri/kokorobf_suishin.html
あなたはこの研修に興味がありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	14	2.9
2 どちらかといえばある	79	16.5
3 どちらともいえない	165	34.4
4 どちらかといえばない	92	19.2
5 ない	130	27.1
全体	480	100.0

Q27. あなたは、どのような内容の研修であれば、受講したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 障がいの特性	95	19.8
2 障がいのある方の困りごと	157	32.7
3 障がいのある方への配慮の方法	180	37.5
4 障がいに関するマーク	44	9.2
5 障がいの体験（例えば車いす体験など）	66	13.8
6 当事者の経験談	74	15.4
7 障がいのある方とのフリートーク	35	7.3
8 その他	2	0.4
9 内容にかかわらず受講したいと思わない	209	43.5
全体	480	100.0

Q28. あなたは、障がいのある方への札幌市の取組に関心がありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 とても関心がある	32	6.7
2 どちらかといえば関心がある	200	41.7
3 どちらかといえば関心がない	167	34.8
4 全く関心がない	81	16.9
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q29. あなたは、障がいのある方への札幌市の取組に関することについて、どのような媒体で情報を得ていますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 広報さっぽろ	236	49.2
2 札幌市が発行するパンフレット	46	9.6
3 ポスター	37	7.7
4 新聞	87	18.1
5 テレビ	113	23.5
6 ラジオ	23	4.8
7 札幌市の公式ホームページ	29	6.0
8 札幌市の公式SNS	17	3.5
9 札幌市以外のインターネット	18	3.8
10 家族・知人	22	4.6
11 地下鉄駅などのデジタルサイネージ	19	4.0
12 街頭のデジタルサイネージ	13	2.7
13 映画館でのCM	6	1.3
14 その他	1	0.2
15 得ていない	178	37.1
全体	480	100.0

Q30. あなたは、札幌市は、障がいのある方にとって、地域で暮らしやすい街であると思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	23	4.8
2 どちらかといえばそう思う	199	41.5
3 どちらかといえばそう思わない	201	41.9
4 そう思わない	57	11.9
全体	480	100.0

Q31. あなたの性別を教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 男性	240	50.0
2 女性	240	50.0
3 その他	0	0.0
全体	480	100.0

Q32. あなたの年齢を教えてください。（令和5年1月1日現在）

	回答数(n)	割合(%)
1 15～19歳	0	0.0
2 20～29歳	21	4.4
3 30～39歳	99	20.6
4 40～49歳	120	25.0
5 50～59歳	120	25.0
6 60～69歳	71	14.8
7 70歳以上	49	10.2
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q33. あなたは現在何区にお住まいですか。

	回答数(n)	割合(%)
1 中央区	68	14.2
2 北区	65	13.5
3 東区	58	12.1
4 白石区	47	9.8
5 厚別区	30	6.3
6 豊平区	60	12.5
7 清田区	27	5.6
8 南区	34	7.1
9 西区	55	11.5
10 手稲区	36	7.5
11 その他	0	0.0
全体	480	100.0

Q34. あなたの職業を教えてください。（最も近いものを1つ選んでください。）

	回答数(n)	割合(%)
1 会社員・団体職員	205	42.7
2 公務員	19	4.0
3 自営業	29	6.0
4 パート・アルバイト	88	18.3
5 主婦・主夫	74	15.4
6 学生	5	1.0
7 無職	54	11.3
8 その他	6	1.3
全体	480	100.0

Q35. あなたの世帯構成を教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 自分1人または友人と同居などの単身世帯	100	20.8
2 夫婦2人だけの一世代世帯	131	27.3
3 親と子の二世帯世帯	221	46.0
4 親と子と孫の三世帯世帯	18	3.8
5 その他	10	2.1
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q36. あなたの同居しているご家族を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 配偶者（パートナー）（65歳未満）	222	46.3
2 配偶者（パートナー）（65歳以上）	71	14.8
3 乳幼児（0～2歳程度）	13	2.7
4 就学前児童（3～5歳程度）	24	5.0
5 小学生（6～12歳程度）	58	12.1
6 中学生（13～15歳程度）	25	5.2
7 高校生（16～18歳程度）	35	7.3
8 大学（院）・専門学校生	29	6.0
9 配偶者以外の65歳以上の高齢者	70	14.6
10 その他の家族の方	89	18.5
11 一人暮らし	95	19.8
12 家族以外と同居	2	0.4
全体	480	100.0

Q37. あなたは日常生活において、どのような方法で情報収集を行っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 新聞	226	47.1
2 テレビ	350	72.9
3 ラジオ	124	25.8
4 インターネット	360	75.0
5 SNS	165	34.4
6 広報さっぽろ	257	53.5
7 札幌市が発行しているパンフレットやチラシなど	68	14.2
8 町内会の回覧板	122	25.4
9 家族や友人、知人	167	34.8
10 その他	2	0.4
11 特に情報を得ていない	42	8.8
全体	480	100.0

Q38. あなたご自身に身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）、その他の心身の機能の障がいや、難病に起因する障がいがありますか。（障害者手帳の有無に限らない。）

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	50	10.4
2 ない	430	89.6
全体	480	100.0

Q39. あなたのご家族（同居の有無は問わない。）に身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）、その他の心身の機能の障がいや、難病に起因する障がいがありますか。（障害者手帳の有無に限らない。）

	回答数(n)	割合(%)
1 ある（18歳以上のご家族）	77	16.0
2 ある（18歳未満のご家族）	18	3.8
3 ない	385	80.2
全体	480	100.0

令和5年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q40. あなたは今までボランティア活動を行ったことがありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	143	29.8
2 ない	337	70.2
全体	480	100.0